

はやぶさ 第319号 2019年07月5日（金）

=====

理念経営のすすめ

5回シリーズ 第4回 なぜ今理念経営なのか

著者：社会保険労務士法人 井上敬裕事務所

中小企業診断士、社会保険労務士

井上 敬裕

=====

先日、梅雨の季節、各地で大雨となっているようです。被災地の方々にはお見舞い申し上げます。

5回シリーズの第4回です。バックナンバーは、下記のURLを参照ください。

[https://xn--j2r51vkyqmx.net/mail\\_magazine/hayabusa.php](https://xn--j2r51vkyqmx.net/mail_magazine/hayabusa.php)

\*\*\*\*\*

7月度 会計人セミナーの予告

7月17日（木）14：30～17：00 TKP秋葉原カンファレンスセンター

講師 （株）アルパーコンサルティング代表の古川忠彦氏をお招きし、

テーマ 「経営革新等認定支援機関として成果を上げるためのノウハウ公開」

詳細は下記のURLでご案内いたしますのでご期待ください。

[https://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723lpdf\\_1\\_170.pdf](https://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723lpdf_1_170.pdf)

=====

理念経営のすすめ

第4回 なぜ今理念経営なのか

## 1. 時代の変遷

今はどのような時代でしょうか？どのような時代か？それは過去と比較することで今がどのような時代かをはっきり知ることができます。過去と比較して、何が価値視されてきているのか？さらには、今後どのような価値観の時代を迎えていくのか？大きな時代の流れ

の中で、理念経営が必要な理由を考えてみたいと思います。

## 2. 見えるものから見えないものへのシフト

生活を中心に人々の価値観がどのように変わってきたか見てみましょう。20世紀の半ば、すなわち第2次世界大戦後においては、モノ不足が深刻で、モノが最も価値を持った時代でした。高度経済成長の波に乗って、モノの生産力が増加してくる中で、モノ不足は解消され、モノよりも流動性の高いカネがモノよりも価値視されてくるようになりました。ここで重要なことは、カネはモノの一種に過ぎないということです。カネやモノは具体的な数量で表すことができます。数量が多ければ多いほど価値があるという価値観です。

このカネやモノの数量が多ければ多いほどいいという価値観が崩壊したのがバブル経済の崩壊でした。バブル経済の崩壊以降新たに価値視されてくるようになったのが、インターネットを基盤にした情報です。それまで一つの情報を得るために、何時間とかかっていたものが瞬時に得ることができるようになりました。情報化は、それまで人同士のコミュニケーションの前に立ちはだかっていた時間的、空間的制約を取っ払い、いつだれとでもコミュニケーションをとることができる社会を実現しました。ここで重要なことは、情報へのアクセス、他人とのコミュニケーションはモノやカネの数量に関係なく、可能であり、それを豊かなものにするためには、本人の思いや熱意等の内的なものに大きく影響されるということです。

上記のような流れを見ていくと、人々の価値観は目に見えるものから見えないもの、情報についても、情報そのものから、情報をどう扱うか、どう伝えるか、という数量化することができない心の世界にシフトしてきていることがわかります。

## 3. 理念が形となって表れる時代

逆説的な言い方になりますが、目に見えないものが価値視されるようになるということとは、目に見えないものが見えるようになってくるということになります。これは具体的にどういふことでしょうか？すべての物事、今ある事象は、何らかの原因の結果であるといふことができます。GD4つのテーゼ（注1）のところで述べたように、すべての事象存在が、意味、目的、必然性を持っています。

注1）GD4つのテーゼ

- (1) どんな時も決して争ってはならない
- (2) 戒律を作って相手や自分の「身と心」をしばってはならない
- (3) 教会や思想の結社を作って他を「悪」として排除してはならない
- (4) 本人からの依頼がない限り自立性を尊重して決して手を出してはいけない

このことは、原因がとても重要な価値を持っているということを意味します。すなわち、

思いや動機、理念といったものがそのまま目に見える形として現れるということを意味します。ここで重要なことは、見た目が同じような結果であったとしても、その結果から思いや動機が見えるようになるということです。結果そのものではなく、その背後にある思いや動機に心が揺さぶられるということになります。

このように考えてくると、結果の世界あるいは環境はそれほど重要なものではなく、結果や環境をどうとらえるか、どうみるかということが重要であるということになります。

これまでは結果だけあるいは環境だけが与えられればそれでよし、それが幸せだという価値観でした。しかし、これは極めて受動的な幸福感であり、積極的に魂が満たされる幸福であるとは言えません。今後人口減少社会を迎え、会社の数も 2050 年には今の 3 分の 2 になると言われて

います。そのような環境の中で生き残り、必要とされるのはどのような会社でしょうか？ 理念経営は、「世のため、人のため」と共に、自らの理念、人格を磨いていくために、これからの時代に必要な経営の在り方なのです。

今回は、「理念経営の特徴」というテーマで解説します。

===== お知らせ =====

■LW セミナー 第6回 ライトワーカー（LW）の方々の「清豊」の実戦方法！

7/25（木）15:00～17:00 JBG・研修室（後楽園） 1,000 円

＊＊・言霊の力・ヤマトは「言霊の世開」・・・Cap 平本

講師 長谷川 博彰氏 ＊＊インテリジェンスマイニング 「和」を創る言葉

「LW セミナー」はスピリッツ系に親しみを持つ経営者・経営支援家や一般市民の人々が対象。 LW とはライトワーカーの略称で、世界平和・地球環境・貧困等の改善をミッションと感じている人です。

このセミナーに参加すると自分がLW かしっかりと覚醒します。

毎回 Captain 平本が、理念経営の基本と GD（創造神）とのコラボについてお話しします。

各界でご活躍の先達の方々から経験談をお話いただき、「魂の同窓会」をいたします。

お時間は 2 時間です。

詳しくはURL：[https://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723lpdf\\_1\\_146.pdf](https://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723lpdf_1_146.pdf)

=====

（株）I&C・HosBiz センター

[理念経営.net](http://理念経営.net) <http://理念経営.net/>

メールアドレス：[hos\\_biz@hosbiz.net](mailto:hos_biz@hosbiz.net)

発行責任者：平本 靖夫、 編集長：宮川 良平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

[http://kai11.net/stepmail/dela.php?no=xxewhs&a\\_mail=shibakuru26%40gmail.com](http://kai11.net/stepmail/dela.php?no=xxewhs&a_mail=shibakuru26%40gmail.com)